

くすり一口メモ

医薬品に分類される経腸栄養剤

近年、患者の栄養状態が各種疾患の治療成績に大きな影響を与えており、その重要性が注目されています。日本では1998年に日本静脈経腸栄養研究会（現日本静脈経腸栄養学会：JSPEN）から静脈・経腸栄養を適正に実施するためのガイドラインが発表され、2006年には改訂版が刊行されています。このガイドラインでは「腸が使えるならば可能な限り使用する」となっています。この原則に則り、それまでTPN（完全静脈栄養法）を中心とした栄養管理が経腸栄養を主体とした栄養管理へ変化してきました。

現在、市販されている経腸栄養剤は薬事法により医薬品と食品に分類されています。また製剤の特性からは成分栄養剤、消化態栄養剤、半消化態栄養剤、天然濃厚流動食に分類されています。そこで今回は医薬品に分類される成分栄養剤、消化態栄養剤、半消化態栄養剤の特徴をまとめました。

分類	成分栄養剤		消化態栄養剤		半消化態栄養剤				
窒素源	アミノ酸		アミノ酸・ジペプチド・トリペプチド		たんばく質・ポリペプチド				
糖質	デキストリン		デキストリン		デキストリンなど				
脂肪含有量	きわめて少ない		少ない		多い				
消化	不要		不要		必要				
残渣	ほとんど無し		きわめて少ない		少ない				
浸透圧	高い		高い		低い				
溶解性	良好		良好		比較的良好				
粘稠性	低い		高い		高い				
味・香り	不良		不良		良好				
製品名	エレンタール	エレンタールP	エンテルド	ツインライン	エンシュアリキッド	エンシュア・H	ハーモニックM	ハーモニックF	ラコール
製薬会社	味の素ファルマ		テルモ	大塚製薬	アボット・ジャパン		味の素ファルマ		大塚製薬
100kcal当りのml(g)	26.7	25.6	100	100	25	66.7	100	100	100
下痢の発現頻度(%)	12.9	6.6	14.5	30.4	17.2	9.1	5.6	7.8	20.2
開封調製後の使用期限	12時間以内		12時間以内	12時間以内	48時間以内		24時間以内		24時間以内
特徴・注意点	<ul style="list-style-type: none"> 70以上の湯では、成分の分解のおそれがある エレンタールPは原則として2歳未満の患者に使用 		<ul style="list-style-type: none"> 水又は微温湯(40以下)を用いて調製 溶液を沸騰させない 	<ul style="list-style-type: none"> A液、B液を使用時に混合 	<ul style="list-style-type: none"> 牛乳たんぱくアレルギーを有する患者には禁忌 エンシュアHは開缶直前によく振ってから使用 	<ul style="list-style-type: none"> 脂質にMCT(中鎖脂肪酸トリグリセリド)を含有 	<ul style="list-style-type: none"> 食物繊維(ダイズフスマ)を含有 開封直前によく振ってから使用 	<ul style="list-style-type: none"> 植物性たんぱく質の含量が高い 脂肪はω3系必須脂肪酸(α-リノレン酸)を多く含有するシソ油を配合 	

肝不全に用いられるヘパNED, アミノレバNENは除く

医薬品に分類される経腸栄養剤は、三大栄養素以外の栄養素（ミネラル等）を十分に補うことができず、長期的に使用する際は、注意が必要です。また、浸透圧が高いので副作用として下痢の発現頻度が高くなっています。下痢の症状が起こった場合は薬剤を希釈するか、投与速度を下げることで対応して下さい。但し、下痢の症状が改善した場合は標準速度、標準濃度に戻すようにしてください。

【参考文献】 今日の治療薬2008 各種添付文書 薬局Vol.56 2005年1月号
（鹿児島市医師会病院薬剤部 柿本 智広）